



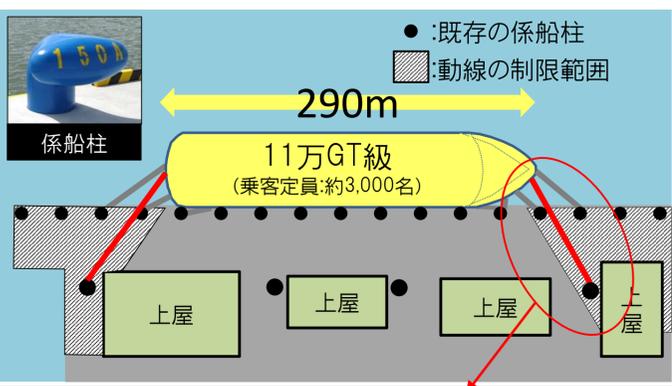
大型クルーズ船の受入環境改善(清水港)

世界最大級のクルーズ船の受入れを可能に

現在 now

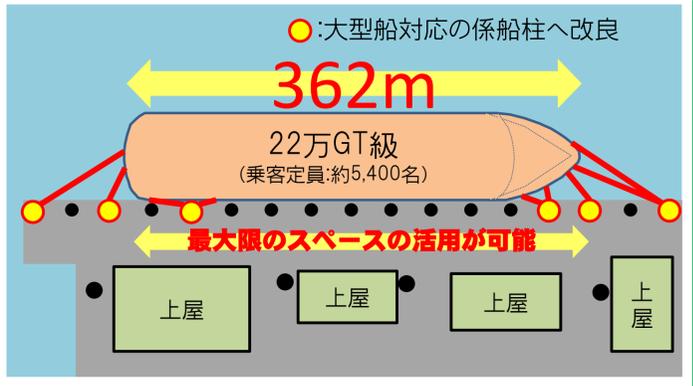
将来 future

インフラ



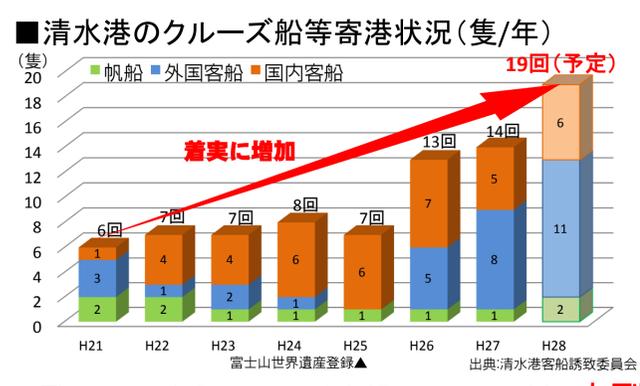
係船柱の大型化

既存岸壁を活用し
受け入れ機能の強化を可能に



平成28年度 完成予定

地域



大型クルーズ船に対応した岸壁の整備により、**大型クルーズ船の寄港が増加、経済波及効果は約8.3億円/年！(H26)**

■ 更なるクルーズ船誘致のため、地元による、さまざまな歓迎イベント等を実施。

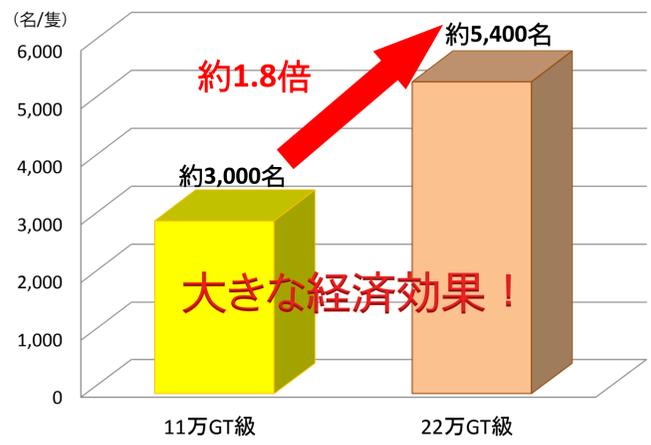


【歓迎セレモニー】
清水芸妓による花束の贈呈、記念品の交換等



【出港時】
地元学生による、和太鼓の演奏等

■ クルーズ船の大型化による乗客定員の変化(名/隻)



大型クルーズ船寄港1回での来訪者数(乗員客数)が増加、寄港地における観光消費の増加など、大きな経済効果が期待される

- 富士山の世界文化遺産登録後の平成26年度に、前年の2倍のクルーズ船が寄港し、平成27年度は更に増加
- 係船柱の大型化で、急増する大型クルーズ船に対応
- 新たな寄港需要に対応することで、地域経済に貢献

